

ひろしまの森づくり事業（交付金事業）推進の考え方（第3期：H29～H34）

市町名：三次市

1 要旨

三次市の森づくり事業（交付金事業）を実施するにあたって、「ひろしまの森づくり事業に関する活動方針」を踏まえ、三次市の里山林を取り巻く現状と課題を念頭に第3期の推進方針を定め、これに基づき手森林の持つ公益的機能を持続的に発揮できる取組を行うこととする。

2 里山林の現状と目指す姿

区分	現状	課題	目指す里山林の姿	取組む内容
景観保全林	・里山林の手入れ不足により景観が悪化している。	・里山林を手入れする人がいない。 ・地域で里山林を整備していく意識が低い。	・地域で里山林を継続的に手入れすることで、集落と一体となった健全な景観をもたらす里山林を目指す。	・景観が悪化した地域において、景観保全を目的とした森林整備に取り組むとともに、新規取組地域について積極的に実施する。
防災・減災林				
地域資源活用林	・生活様式の変化等により、里山林が地域の資源として活用されなくなり荒廃が進んでいる。	・里山林が住民にとって身近なもので無くなっている。	・林業体験やレクリエーションを行うことができる里山林へと再生し、広く住民が森林に気軽に触れ合える資源林を目指す。	・森林の利用が低下した地域において、地域の資源として活用される森林整備に取り組むとともに、新規取組地域について積極的に実施する。
環境緑化保全林				
鳥獣被害防止林				

※区分は市町が森づくり事業に取り組む方針により選択して記載すること。

3 森林を守り育てるための取り組み

区分	現状と課題	目指す姿	取組む内容
森林を守り育てる体制 森林整備を行う者 （森林ボランティア団体） （住民団体等） （小規模林業経営者） ※主体別に記入 森林整備を助ける体制 （森林資源の継続的利用）	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり事業を活用するボランティア団体は収入基盤を持たないものも多く、引き続き森づくり事業を活用して活動を継続したい旨の要望が多い。 ・林業経営のハードルが高く、個人や小規模の林業経営がほとんど見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体が、自らの収入や会費等で運営を継続しながら、森づくり事業を活用し森林保全活動を展開することにより、地域の活性化に寄与している。 ・会社勤めや農業等を行いながら、合間に林業経営を行う兼業の経営を推進し、収入を得ながら森林の整備を行なうことで、森林資源を循環させ続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全活用支援事業や森林・林業体験活動支援事業を活用し、ボランティア団体活動の維持と組織の活性化を図り次世代に活動を引き継いでいく。 ・市内在住者に対して林業経営を提案し、新規経営者に対して必要な支援を行う。
取組への理解促進 参加拡大による理解促進 事業の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしまの森づくり県民税が何なのか、どのような事業を行っているか、どのような効果があるかが理解されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が森づくり県民税の用途や効果、実績を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県と連携し、市広報誌を活用し事業の実績や効果を市民に広く発信する。 ・自治組織に対して事業提案募集を行い、地域発の活動を活性化することで、事業を住民に認識してもらう。 ・イベント時を中心に、森づくり事業を活用している旨を幕等で周知する。 ・「ひろしま山の日県民の集い」を開催し、多くの市民の参加を得ながら、森づくり事業の周知を図るとともに、住民が参画する森づくりを誘導する。